



虹の丘・みずほ台の皆様へ

南米音楽のひびきコンサート

～バンドネオンとアルパ～

「バンドネオン」という楽器をご存じでしょうか？
ドイツに生まれ、大戦期に生産中止になり、
今も 100 年前の楽器が使われることも。
南米音楽で使われるパラグアイの竖琴「アルパ」とともに、
日本では大変貴重な楽器です。
歴史あるタンゴや皆さんも知るあの曲まで、
南米の風を感じる音色をお楽しみください♪

日時

7月19日(日)

10時30分から11時30分
(10時開場)

会場

虹の丘コミュニティセンター 多目的ホール

演奏

アポロニータ(Apolonita)

バンドネオン奏者 渡辺 公章

アルパ奏者 渡辺 美和

演目

青葉城恋唄 ラ・クンパルシータ

もののけ姫 牛乳列車 他

申込

申し込みはいりません。

直接会場へお越しください。

お問合せ

仙台市加茂市民センター

仙台市泉区加茂 4-2

TEL (022) 378-2970

虹の丘コミュニティセンター(会場)

仙台市泉区虹の丘 1-9-4

TEL (022) 372-9744



< アポロニータ (Apolonita) >

アルゼンチンタンゴには欠かせない楽器のバンドネオン奏者、渡辺公章と南米パラグアイのハーブであるアルパの奏者、渡辺美和による世界でも珍しい取り合わせの音楽デュオ。主に宮城県を中心に活動しており、県内での一大イベントである仙台七夕祭り期間中には、伊達政宗公の霊廟がある瑞鳳殿でのイベントにも出演している。南米音楽から日本のポップス音楽まで幅広いジャンルにおいて、それぞれの楽器の個性を活かした唯一無二の音楽を目指している。

◆ 渡辺公章 (わたなべ きみあき) バンドネオン奏者

仙台二高、筑波大学第一学群社会学類卒。幼少より矢野吉晴氏にピアノを学ぶ。大学時代にフランスに留学し、バンドネオンの巨匠、ファン・ホセ・モサリーニ氏と出会い、彼のもとでバンドネオンを学ぶ。

その後、東京芸術大学大学院音楽研究科修士課程を修了。フランスと日本の音楽交流を目的とするNPO法人「日仏楽友協会」のプロデューサーとして数多くの演奏会、イベント、講習会を企画制作する。タンゴ・グループ「タンゴ・アリエント」主宰。2022年6月初のCD『LA ROSA DE LOS VIENTOS(羅針図)』をリリース。2024年アルゼンチンのサン・マルティン国立大学において「アルゼンチン音楽『タンゴ』」のディプロム取得。現在は仙台を中心として各地で演奏活動を行い、バンドネオン教室を主宰している。

◆ 渡辺美和 (わたなべ みわ) アルパ奏者 千葉県出身

南米パラグアイのハーブの『アルパ』を趣味として始め、その煌びやかな音色に惹かれて本格的に習得に励む。これまでに内山裕子^{ひろこ}氏から手ほどきを受け、その後仙台に在住していたパラグアイ人のアルパ奏者 ホセ・ルイス・バルボーサ氏より、より細かな楽器奏法やパラグアイの音楽について学んだ。2009年全日本アルパコンクールでは銅賞を受賞し、2020年に自身初のCDアルバム『LUNA LLENA ルナ・ジェナ』を制作。